

きのこ種駒打ち体験

(平成31年4月25日)

きのこ種駒打ち体験

4月25日(木)、「みどりの保育園」推進事業を西荒瀬保育園で実施しました。当事業は森林環境教育として森林で様々な活動を体験してもらうことを支援するものです。

参加者は保育園から年長児23名(欠席4名)、保育園職員4名、当センターから講師として3名、計30名でした。当日は雨となり、西荒瀬コミュニティ防災センターで行いました。内容は50本あるホダ木(しいたけ用ホダ木30本、ナメコ用ホダ木20本)に、50個/本の割合で種駒を打ち込んでいくという体験をしてもらうものです。

はじめに年長児達の元気な「クロマツの歌」から始まり、当センター所長からきのこの育て方は昔の人が編みだしたものであり、今日は大きく育つようお願いしながら打ちましようという挨拶がありました。その後当センター職員から、きのこには体の中を綺麗にする働き、さらに森の中にたまった動物の糞や枯れ木を細かくして土に還すという働きをもち、人にとっても森にとってもお掃除屋さんであるというお話がありました。次に種駒の打ち方について説明を行い、始めは軽く真っ直ぐ打ち込んでいき、種駒をびっくりさせたり周りの友達を打たないように注意事項を伝え園児達は熱心に聞いていました。



ホダ木の穴開け体験



キノコの赤ちゃん元気に育て！

その後5グループに分かれ、各グループの代表者1人が電動ドリルを使った穴開け体験をした後に、みんなで駒打ち体験をしました。慣れない駒打ちに苦戦している園児が多かったのですが、中には「おじいちゃんの家でしたことある！」という経験者もありました。また、穴に種駒を入れる役と打ち込む役と分担しながら、取り合いをすることなく役割を交代しながら行い、大人顔負けのチームワークに驚かされました。打ち終わる頃には駒打ちにも慣れ、他のグループの手伝いをしている園児もあり、楽しく協力しあいながら駒打ち体験を終えることが出来ました。

最後に、打ち終わったホダ木をしんちゃんの森(遊々の森)に運び、元気よくきのこが育つことをみんなで願い今年度最初の「みどりの保育園」は無事終了しました。



最後はホダ木を並べるためにエイエイオー！！



駒打ち完了！！

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター